

10月の夜のはじめ頃、「夏の大三角」は西の空に横たわり、真ん中を天の川が流れています。その両側には七夕の織姫星のベガと、彦星ことアルタイルが輝き、白鳥が優雅な翼を広げています。南東の空は、アンドロメダ座、ペガスス座、うお座、みずがめ座、くじら座など秋の星座で一杯になっていて、その真ん中で土星が明るく輝いています。

夜遅くになると、東の空には**おうし座やぎょしゃ座**など、早くも冬の星座が顔を見せます。**おうし座**の右目で橙色に明るく光る一等星が**アルデバラン**です。「後に続くもの」という意味で、「すばる」として親しまれている「プレアデス星団」を追うようにのぼってきます。

10月6日は旧暦の8月15日で、この日に1年を通して最も美しいとされる「中秋の名月」となります。この時期は空気が乾燥していること、月が空の高い位置を通るので地上のほこりの影響を受けにくいことから、澄んだ空気が月をくっきりと夜空に映し出します。また、この日には土星がそばにやってくるので、名月と夜空の人気者との共演をご覧いただけます。